

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 21 年 9 月 3 日 (2009.9.3)

【公表番号】特表 2009-502682 (P2009-502682A)
 【公表日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-004
 【出願番号】特願 2008-524939 (P2008-524939)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 67/02 (2006.01)

B 6 5 D 77/24 (2006.01)

B 6 5 D 25/20 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 67/02 Z

B 6 5 D 77/24

B 6 5 D 25/20 V

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 14 日 (2009.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の第 2 の物品を一時的に 1 つに保持するように構成されている接続要素であって、基部部材を有し、該基部部材は、第 1 の第 2 物品を該基部部材に対して保持するように構成されている第 1 の接着領域と、第 2 の第 2 物品を該基部部材に対して保持するように構成されている第 2 の接着領域とを備え、前記両接着領域は電氣的に弱くできる接着剤を有する、接続要素。

【請求項 2】

複数の第 2 の物品を一時的に 1 つに保持するように構成されている接続要素であって、基部部材を有し、該基部部材は、第 1 の第 2 物品を該基部部材に対して保持するように構成されている第 1 の接着領域と、第 2 の第 2 物品を該基部部材に対して保持するように構成されている第 2 の接着領域とを備え、前記両接着領域は、導電性であって電氣的に弱くできる接着剤を受け入れるように構成されている第 1 の活性表面を有しており、前記第 1 活性表面は、前記電氣的に弱くできる接着剤に電圧を印加するように構成されている電気回路の一部分を構成している、接続要素。

【請求項 3】

該接続要素にはそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するために使用されるように構成されている少なくとも 1 つの導体が設けられている、請求項 1 または 2 に記載の接続要素。

【請求項 4】

該接続要素上の第 1 導体は前記 1 つまたは 2 つ以上の第 2 物品上の第 2 の導体と組み合わせられてそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するように構成されている、請求項 3 に記載の接続要素。

【請求項 5】

該接続要素にはそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するように構成されている一式の少なくとも 2 つの導体が設けられている、請求項 1 または 2 に記載の接続要素。

【請求項 6】

両前記接着領域は互いに並列に電氣的に接続されている、請求項5に記載の接続要素。

【請求項 7】

前記導体は外部の電力源に接続されるように構成されている複数の接続部分を有している、請求項 3 から 6 のいずれか 1 項に記載の接続要素。

【請求項 8】

該接続要素は、複数の前記接着領域を通して互いに接続されている第 1 と第 2 の導体を有する、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の接続要素。

【請求項 9】

前記基部部材は非導電性材料で構成されている、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の接続要素。

【請求項 10】

導電性であって、互いに離れて構成されており、電気回路を通して互いに電氣的に接続可能に構成されている第 1 と第 2 の活性表面をさらに有し、前記電氣的に弱くできる接着剤は前記第 1 と第 2 の活性表面の間の距離を埋めるように構成されている、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の接続要素。

【請求項 11】

閉じた電気回路内でそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するように作動され、前記複数の導体に接続するように構成されている内部電力源を有する、請求項 3 から 10 のいずれか 1 項に記載の接続要素。

【請求項 12】

前記第 1 活性表面は第 1 の電極電位を備えている第 1 の材料であって、前記第 2 活性表面は第 2 の電極電位を備えている第 2 の材料であって、前記第 1 電極電位は前記第 2 電極電位とは異なる、請求項 10 に記載の接続要素。

【請求項 13】

前記接続要素が少なくとも 1 つの印刷されているおよび / または積層されている電池をさらに有する、請求項 11 または 12 に記載の接続要素。

【請求項 14】

表面を備えている第 1 支持層であって、第 1 活性表面は導電性であって該第 1 支持層によって支持されており、第 2 活性表面は導電性であって該第 1 支持層によって支持されている、該第 1 支持層をさらに有し、前記第 1 活性表面は前記第 2 活性表面から前記第 1 支持層の前記表面に沿った第 1 の距離離れており、前記積層構造は両前記活性表面の間の距離を埋める電氣的に弱くできる接着剤を受け入れるように構成されている、請求項 1 から 13 のいずれか 1 項に記載の接続要素。

【請求項 15】

パッケージであって、第 1 の接着領域を有し、前記第 1 接着領域によって 1 つまたは 2 つ以上の他のパッケージに一時的に接続されるように構成されており、前記接着領域は電氣的に弱くできる接着剤を有する、パッケージ。

【請求項 16】

パッケージであって、第 1 の接着領域を有し、前記第 1 接着領域によって 1 つまたは 2 つ以上の他のパッケージに一時的に接続されるように構成されており、前記接着領域は導電性であって、電氣的に弱くできる接着剤を受け入れるように構成されている第 1 の活性表面を有しており、前記第 1 活性表面は前記電氣的に弱くできる接着剤に電圧を印加するように構成されている電気回路の一部を構成している、パッケージ。

【請求項 17】

該パッケージには前記接着領域に電圧を印加するために使用されるように構成されている少なくとも 1 つの導体が設けられている、請求項 15 または 16 に記載のパッケージ。

【請求項 18】

前記 1 つまたは 2 つ以上の他のパッケージには該パッケージ上の前記導体と組み合わせられてそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するように構成されている導体が設けられてい

る、請求項 1 7 に記載のパッケージ。

【請求項 1 9】

該パッケージにはそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するように構成されている一式の少なくとも 2 つの導体が設けられている、請求項 1 5 または 1 6 に記載のパッケージ。

【請求項 2 0】

該パッケージは複数の接着領域が設けられている、請求項 1 5 から 1 9 のいずれか 1 項に記載のパッケージ。

【請求項 2 1】

第 1 の前記接着領域は該パッケージを第 2 のパッケージに一時的に接続するように構成されており、第 2 の前記接着領域は該パッケージを第 3 のパッケージに一時的に接続するように構成されている、請求項 2 0 に記載のパッケージ。

【請求項 2 2】

第 1 と第 2 の前記接着領域が該パッケージを第 2 のパッケージに接続するように構成されている、請求項 2 0 または 2 1 に記載のパッケージ。

【請求項 2 3】

前記複数の接着領域は互いに並列に電氣的に接続されている、請求項 2 0 から 2 2 のいずれか 1 項に記載のパッケージ。

【請求項 2 4】

前記少なくとも 1 つの導体は外部の電力源に接続されるように構成されている複数の接続部分を有している、請求項 1 9 から 2 3 のいずれか 1 項に記載のパッケージ。

【請求項 2 5】

該パッケージは、複数の前記接着領域を通して互いに接続されている第 1 と第 2 の導体を有する、請求項 1 5 から 2 4 のいずれか 1 項に記載のパッケージ。

【請求項 2 6】

導電性であって、互いに離れて構成されており、電気回路を通して互いに電氣的に接続可能に構成されている第 1 と第 2 の活性表面をさらに有し、前記電氣的に弱くできる接着剤は前記第 1 と第 2 の活性表面の間の距離を埋めるように構成されている、請求項 1 5 から 2 5 のいずれか 1 項に記載のパッケージ。

【請求項 2 7】

閉じた電気回路内でそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するように作動され、前記複数の導体に接続されるように構成されている内部電力源を有する、請求項 1 5 から 2 6 のいずれか 1 項に記載のパッケージ。

【請求項 2 8】

前記第 1 活性表面は第 1 の電極電位を備えている第 1 の材料であって、前記第 2 活性表面は第 2 の電極電位を備えている第 2 の材料であって、前記第 1 電極電位は前記第 2 電極電位とは異なる、請求項 2 7 に記載のパッケージ。

【請求項 2 9】

少なくとも 1 つの印刷されているおよび / または積層されている電池をさらに有する、請求項 2 7 または 2 8 に記載のパッケージ。

【請求項 3 0】

表面を備えている第 1 支持層であって、第 1 活性表面は導電性であって該第 1 支持層によって支持されており、第 2 活性表面は導電性であって該第 1 支持層によって支持されている、該第 1 支持層をさらに有し、前記第 1 活性表面は前記第 2 活性表面から前記第 1 支持層の前記表面に沿った第 1 の距離離れており、前記積層構造は両前記活性表面の間の距離を埋める電氣的に弱くできる接着剤を受け入れるように構成されている、請求項 1 5 から 2 9 のいずれか 1 項に記載のパッケージ。

【請求項 3 1】

前記第 1 および / または第 2 支持層は非導電性材料で構成されている、請求項 1 4 から 3 0 のいずれか 1 項に記載のパッケージ。

【請求項 3 2】

取り扱い用要素を構成する物品であって、少なくとも１つの第２の物品を前記取り扱い用要素に対して一時的に保持するように構成されている第１接着領域と、前記取り扱い用要素と前記取り扱い用要素に接続されている前記第２物品とが取り扱われるように構成される係合領域と、を有し、前記接着領域は電氣的に弱くできる接着剤を有する、物品。

【請求項 3 3】

取り扱い用要素を構成する物品であって、少なくとも１つの第２の物品を前記取り扱い用要素に対して一時的に保持するように構成されている第１接着領域と、前記取り扱い用要素と前記取り扱い用要素に接続されている前記第２物品とが取り扱われるように構成される係合領域と、を有し、前記接着領域は導電性であって、電氣的に弱くできる接着剤を受け入れるように構成されている第１の活性表面を有しており、前記第１活性表面は前記電氣的に弱くできる接着剤に電圧を印加するように構成されている電気回路の一部を構成している、物品。

【請求項 3 4】

少なくとも１つの第２物品を前記取り扱い用要素に対して一時的に保持するように構成されている第２の接着領域をさらに有し、前記第２接着領域は電氣的に弱くできる接着剤を有する、請求項 3 2 または 3 3 に記載の物品。

【請求項 3 5】

前記取り扱い用要素は前記両接着領域の間に位置している前記係合領域を備えているスリングを構成する、請求項 3 4 に記載の物品。

【請求項 3 6】

該物品にはそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するために使用されるように構成されている少なくとも１つの導体が設けられている、請求項 3 2 から 3 5 のいずれか１項に記載の物品。

【請求項 3 7】

前記１つまたは２つ以上の他の第２物品には該物品上の前記導体と組み合わせられてそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するように構成されている導体が設けられている、請求項 3 6 に記載の物品。

【請求項 3 8】

該物品にはそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するように構成されている一式の少なくとも２つの導体が設けられている、請求項 3 2 から 3 7 のいずれか１項に記載の物品。

【請求項 3 9】

第１の接着領域は該物品を第１の第２物品に一時的に接続するように構成されており、第２の接着領域は該物品を第２の第２物品に一時的に接続するように構成されている、請求項 3 3 から 3 8 のいずれか１項に記載の物品。

【請求項 4 0】

両前記接着領域は互いに並列に電氣的に接続されている、請求項 3 2 から 3 9 のいずれか１項に記載の物品。

【請求項 4 1】

前記導体は外部の電力源に接続されるように構成されている複数の接続部分を有している、請求項 3 6 から 4 0 のいずれか１項に記載の物品。

【請求項 4 2】

該物品は、複数の前記接着領域を通して互いに接続されている第１と第２の導体を有する、請求項 3 2 から 4 1 のいずれか１項に記載の物品。

【請求項 4 3】

導電性であって、互いに離れて構成されており、電気回路を通して互いに電氣的に接続可能に構成されている第１と第２の活性表面をさらに有し、前記電氣的に弱くできる接着剤は前記第１と第２の活性表面の間の距離を埋めるように構成されている、請求項 3 2 から 4 2 のいずれか１項に記載の物品。

【請求項 4 4】

閉じた電気回路内でそれぞれの前記接着領域に電圧を印加するように作動され、前記複

数の導体に接続するように構成されている内部電力源を有する、請求項3 2から4 3のいずれか1項に記載の物品。

【請求項4 5】

前記第1活性表面は第1の電極電位を備えている第1の材料であって、前記第2活性表面は第2の電極電位を備えている第2の材料であって、前記第1電極電位は前記第2電極電位とは異なる、請求項4 4に記載の物品。

【請求項4 6】

少なくとも1つの印刷されているおよび/または積層されている電池をさらに有する、請求項4 4または4 5に記載の物品。

【請求項4 7】

表面を備えている第1支持層であって、第1活性表面は導電性であって該第1支持層によって支持されており、第2活性表面は導電性であって該第1支持層によって支持されている、該第1支持層をさらに有し、前記第1活性表面は前記第2活性表面から前記第1支持層の前記表面に沿った第1の距離離れており、前記積層構造は両前記活性表面の間の距離を埋めるように電氣的に弱くできる接着剤を受け入れるように構成されている、請求項3 2から4 6のいずれか1項に記載の物品。

【請求項4 8】

前記第1支持層は非導電性材料で構成されている、請求項3 3から4 7のいずれか1項に記載の物品。

【請求項4 9】

前記第2物品は、少なくとも他のパッケージに接続されている、請求項1 5から3 1のいずれか1項に記載のパッケージを少なくとも1つ有している、請求項3 2から4 8のいずれか1項に記載の物品。

【請求項5 0】

前記第1の第2物品と前記第2の第2物品とは請求項1 5から3 1のいずれか1項に記載のパッケージを有している、請求項3 2から4 9のいずれか1項に記載の物品。

【請求項5 1】

前記第2物品は、請求項1から1 4のいずれか1項に記載の接続要素によって一時的に1つに保持される、請求項3 2から5 0のいずれか1項に記載の物品。

【請求項5 2】

複数の該パッケージは、請求項1から1 4のいずれか1項に記載の接続要素によって一時的に1つに保持される、請求項1 5から3 1のいずれか1項に記載のパッケージ。

【請求項5 3】

パッケージなどの複数の物品を流通させる方法であって、請求項1から1 4のいずれか1項に記載の接続要素を用意するステップと、少なくとも2つの第2の物品を前記第1と第2の接着領域にそれぞれ接続するステップと、前記接続要素と、前記接続要素に接続されている前記少なくとも2つの第2物品とを流通させるステップと、前記少なくとも2つの第2物品を前記接続要素から分離するステップと、を有する方法。

【請求項5 4】

複数のパッケージを流通させる方法であって、少なくとも1つの第1の請求項1 5から3 1のいずれか1項に記載の第1パッケージを用意するステップと、少なくとも1つの第2パッケージまたは少なくとも第2の第1パッケージを前記第1パッケージに接続するステップと、前記第1パッケージと前記第1パッケージに接続されている前記他のパッケージとを流通させるステップと、複数の前記パッケージを互いに分離するステップと、を有する方法。

【請求項5 5】

第2の物品を流通させる方法であって、請求項3 2から4 7のいずれか1項に記載の取り扱い用要素を構成する物品を用意するステップと、少なくとも1つの第2の物品を前記取り扱い用要素に接続するステップと、前記取り扱い用要素と、前記取り扱い用要素に接続されている前記第2物品とを流通させるステップと、前記第2物品を前記取り扱い用要素

素から分離するステップと、を有する方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

図2は、両活性表面3、4が、図1a～cのように電氣的に弱くできる接着剤によって構成されている接合層5の両側に2つの独立した層3、4として設けられている代わりに、接合層の同じ側に配置されている実施形態を示している。この構造は、剥離される2つの支持層1、2を有している。両支持層1、2は、紙、厚紙、プラスチックで作られていてもよいが、他の材料も考えられる。両活性表面3、4は、接合層5の一方の側に配置されており、支持層1の表面に沿って距離dだけ互いに分離されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

第2活性表面4は、図2の実施形態のように第1支持層1上に設けられている。絶縁層10は、この構造の上に設けられている。絶縁層10の上方には、第1活性表面3が配置されており、最後に、その上に接合層5が配置されている。第1と第2の活性表面3、4は同一平面内にはないため、第1活性表面3は第2活性表面4の円形端部を完全に囲んでいる円形部材で構成することができる。両活性表面3、4と絶縁層10とによって、接合層5が埋めるように構成されている両活性表面3、4の間に隙間を設けられる。接合層5は、第2支持層2から第1支持層1までずっと延びていて、第1と第2支持層1、2の間を直接接着していてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0099

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0099】

互いから短距離に配置されている各活性表面53、54は1対の活性表面53、54を構成している。接合層が両活性表面53、54と複数のパッケージ50a～gとの間に塗布されている。接合層は各点が両活性表面53、54の各対を覆うように、複数の点として塗布されている。両活性表面53、54と電氣的に弱くできる接着剤との組が電氣的に弱くできる接着領域を構成している。図7～10に示しているように、活性表面53、54と付随している電氣的に弱くできる接着剤との複数のそのような組が、接続要素51の周囲に沿って配置されている。図7の接続要素51は、外部の電力源6（+と-との記号によって示されている）に接続されるように構成されている。接続要素51が外部電源6に接続されると、電流が、両活性表面53、54と導電性の電氣的に弱くできる接着剤との各対を通して第1と第2の回路9a、9bを流れることになる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0105

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0105】

したがって、この例では、パッケージ60aの側部61aは第1支持層を構成する。両

活性表面 6 3、6 4 と、両回路 9 a、9 b とは、パッケージ 6 0 a の表面 6 1 a 上に図 2 ~ 5 を参照して前述したパターンと同様のパターンで配置することができる。複数の接合層の複数の点を活性表面の各対と第 1 のパッケージ 6 0 a に面している他のパッケージ 6 0 b の側部 6 2 b との間に塗布し、それによって両パッケージを 1 つにのり付けすることができる。両回路 9 a、9 b が開いているときは、接合層を通して電流は流れず、両パッケージ 6 0 a、6 0 b は 1 つに接着されたままである。両回路 9 a、9 b が閉じられると、電流が接合層を通して流れ、接合層内または接合層と一方または両方の支持層 6 1 a、6 1 b との間の複数の結合を弱くするか破壊することになり、両パッケージを容易に分離することができる。例として、両回路 9 a、9 b は、ユーザがパッケージの外側に配置されているボタンを押し、それによってスイッチ 7 を閉じることによって閉じることができる。複数の結合を破壊し、または弱くするのに必要な電流は、前述の方法のいずれかによって流すことができる。したがって、両活性表面 6 3、6 4 は異なる電位の異なる材料で作られていてもよい。その代わりに、電気エネルギーを外部電源から加えるか、または電磁波によって発生させることができる。さらなる複数の層を両パッケージ 2 つの接続された表面の間に塗布してもよく、そのような層は、前述のように、絶縁層、さらなる導電層、または従来の接着剤の層であってもよい。